

群馬避難総合対策チーム全体会議（第2回）

議 事 要 旨

1 日 時

令和4年3月17日（木） 10:00～12:00（リモート開催）

2 出席者

- ・市町村防災担当部課(室)
- ・県関係部課
- ・外部関係機関

前橋地方气象台、特定非営利活動法人日本防災士会群馬県支部、社会福祉法人群馬県社会福祉協議会

- ・オブザーバー

陸上自衛隊第12旅団

- ・アドバイザー

金井アドバイザー、阪本アドバイザー、榛沢アドバイザー

3 議 事

- ・専門チーム及び各構成員における事業報告について
- ・令和3年度の事業評価・検証について
- ・令和4年度群馬県当初予算案について

4 議事要旨

出席者からいただいた主なご意見は以下のとおり

〈専門チーム及び各構成員における事業報告について〉

- ・専門チームでは、例えば「20人に一つトイレを配置する」「ベッドは避難者全員に準備する」といったような、具体的な数値目標や対象者を示した方がよいのではないか。

〈令和3年度の事業評価・検証について〉

- ・協定締結については、県が主体となって具体的な提携内容のひな型を示し、各自治体が協定を締結する際に統一的な内容となるようにしてはいかがか。
- ・県民の防災に関する意識を高めてもらうことについて、これまでと同じやり方では効果がなく、抜本的に何か考えて対策をとらないと解決しない。
- ・車中避難は、避難のフェーズをしっかりと分けた上で普及啓発を行うべき。また、車中避難が長期化してしまった場合の対応も視野に入れて検討を進めた

ほうがよい。

- ・ 5つの専門チームに共通するような事項（性的マイノリティの方への配慮等）については、全チームで網羅されているか確認するとよい。

〈その他〉

- ・ 各専門チームで、NPO や民間企業の参画や連携についても検討するとよい。国では避難生活支援・防災人材育成エコシステムを検討中であり、こうした取組と連携して避難所運営の支援に当たる人の育成を今後取り組んでいただければと思う。
- ・ 防災士の中でも資格を取り終えたばかりの方と経験年数を積んだ方とでは温度差がある。資格取得後のスキルアップ研修等が必要。

以上